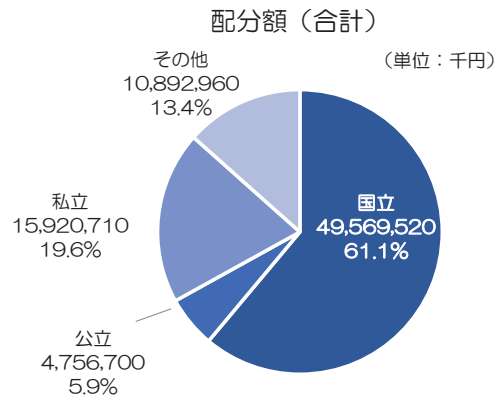
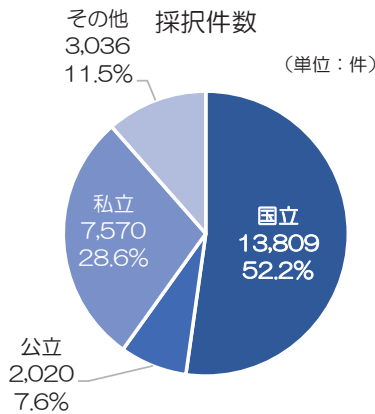


# 7. 研究(1)

## 7-1. 科学研究費補助金の研究機関種別配分状況（新規採択分）

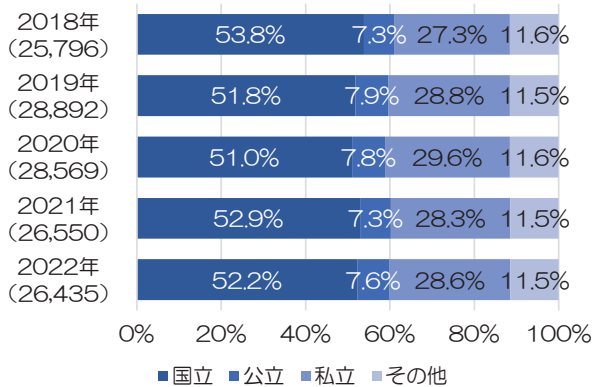
(単位：千円)

	応募件数	採択件数	採択率	応募額	配分額 (直接経費)	配分額 (間接経費)	配分額 (合計)	
合計	92,470	26,435	28.6%	358,768,057	62,415,300	18,724,590	81,139,890	
内訳	国立	43,215	13,809	32.0%	206,197,583	38,130,400	11,439,120	49,569,520
	公立	7,579	2,020	26.7%	21,089,695	3,659,000	1,097,700	4,756,700
	私立	30,482	7,570	24.8%	81,378,089	12,246,700	3,674,010	15,920,710
	その他	11,194	3,036	27.1%	50,102,690	8,379,200	2,513,760	10,892,960



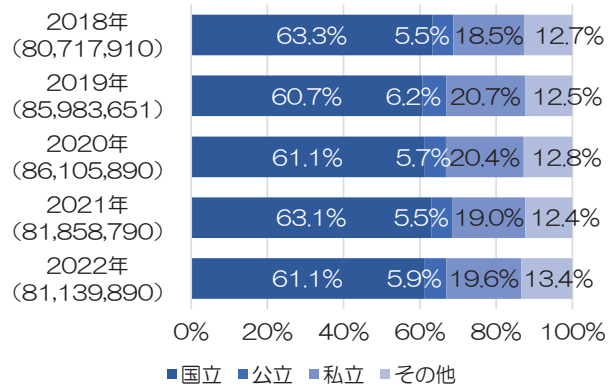
### 研究機関種別採択件数割合

(年度、カッコ内は総採択件数 (単位：件))



### 研究機関種別配分額（合計）割合

(年度、カッコ内は総配分額 (合計、単位：千円))



(注1) 2022年度科学研究費のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究(研究領域提案型)」、「公募研究」、「学術変革領域研究(A)」、「計画研究及び公募研究」、「学術変革領域研究(B)」、「計画研究」、「基盤研究(特設分野研究を除く)」、「挑戦的研究(特設審査領域を除く)」、「若手研究」、「研究活動スタート支援」及び「国際共同研究加速基金(国際先導研究及び国際共同研究強化(B))」について分類。

(注2) 研究代表者が所属している研究機関により整理しているため、研究分担者の分担金を反映した配分の実態を示すものではない。

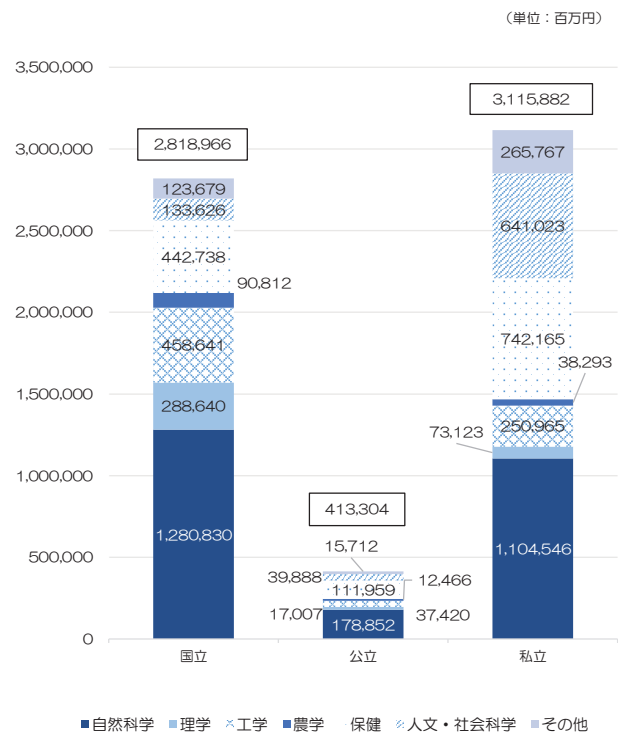
(注3) 四捨五入の関係上、合計と内訳の数値が一致しないことがある。

(出典) 日本学術振興会「研究者が所属する研究機関種別配分状況表(令和4年度 新規採択分)」より国立大学協会事務局作成

# 7. 研究(2)

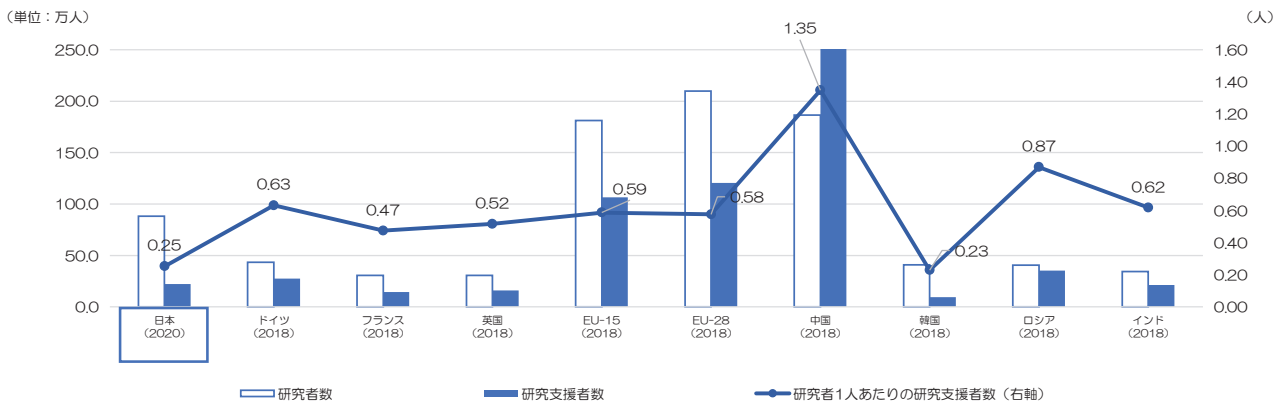
## 7-2. 組織・学問別研究費

	全体	国立	公立	私立
総計	3,783,923	1,538,135	234,452	2,011,336
自然科学	2,564,228	1,280,830	178,852	1,104,546
理学	378,770	288,640	17,007	73,123
工学	747,026	458,641	37,420	250,965
農学	141,571	90,812	12,466	38,293
保健	1,296,861	442,738	111,959	742,165
人文・社会科学	814,537	133,626	39,888	641,023
その他	405,159	123,679	15,712	265,767



(注1) 研究費の内訳は、人件費、原材料費、有形固定資産購入費、無形固定資産購入費、リース料、その他の経費である。  
 (注2) 2022年に実施された調査の結果であり、研究費は調査年の3月31日又はその直近の決算日から遡る1年間の実績である。  
 (出典) 総務省『科学技術研究調査』(2022)より国立大学協会事務局作成

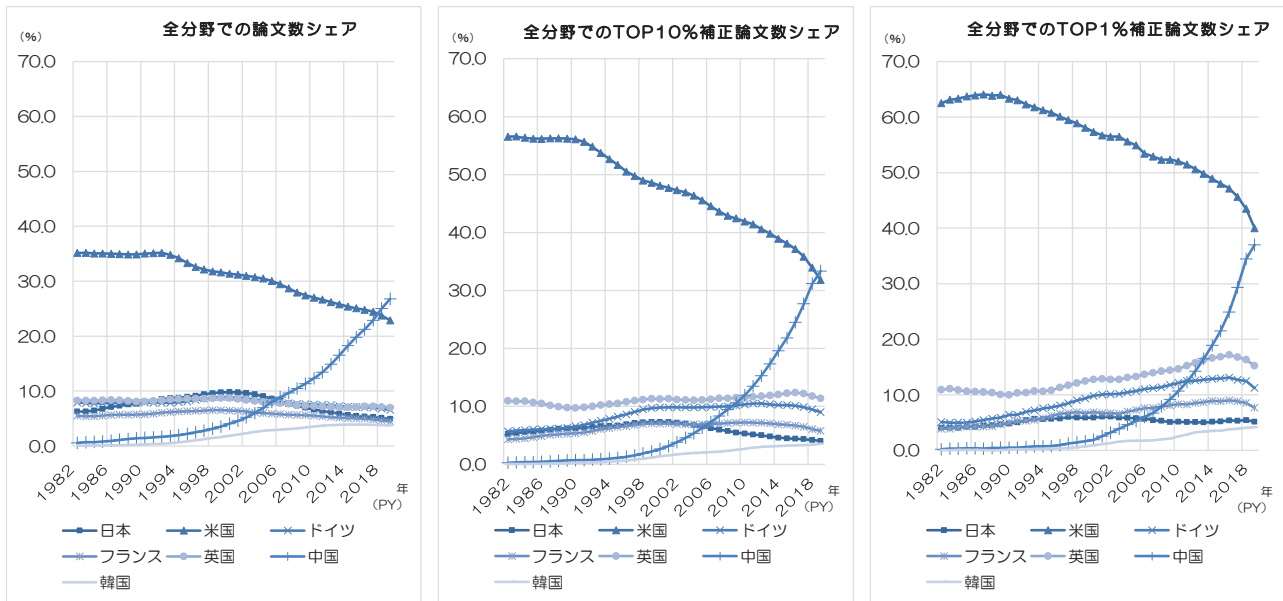
## 7-3. 主要国等の研究者1人当たりの研究支援者数



(注1) 研究者1人当たりの研究支援者数は研究者数及び研究支援者数より文部科学省で試算。  
 (注2) 各国とも人文・社会科学を含む。  
 (注3) 研究支援者は研究者を補助する者、研究に付随する技術的サービスを行う者及び研究事務に従事する者で、日本は研究補助者、技能者及び研究事務その他の関係者である。  
 (注4) フランスの値は推計値である。  
 (注5) 英国の研究者数の値は暫定値であり、研究支援者数の値は過小評価されている。  
 (注6) EUの値はOECDによる推計値である。  
 (出典) 文部科学省『科学技術要覧』(2021)より国立大学協会事務局作成  
 日本：総務省統計局「科学技術研究調査報告」  
 インド：UNESCO Institute for Statistics S&T database  
 その他の国：OECD, Main Science and Technology Indicators, Vol. 2020/11.

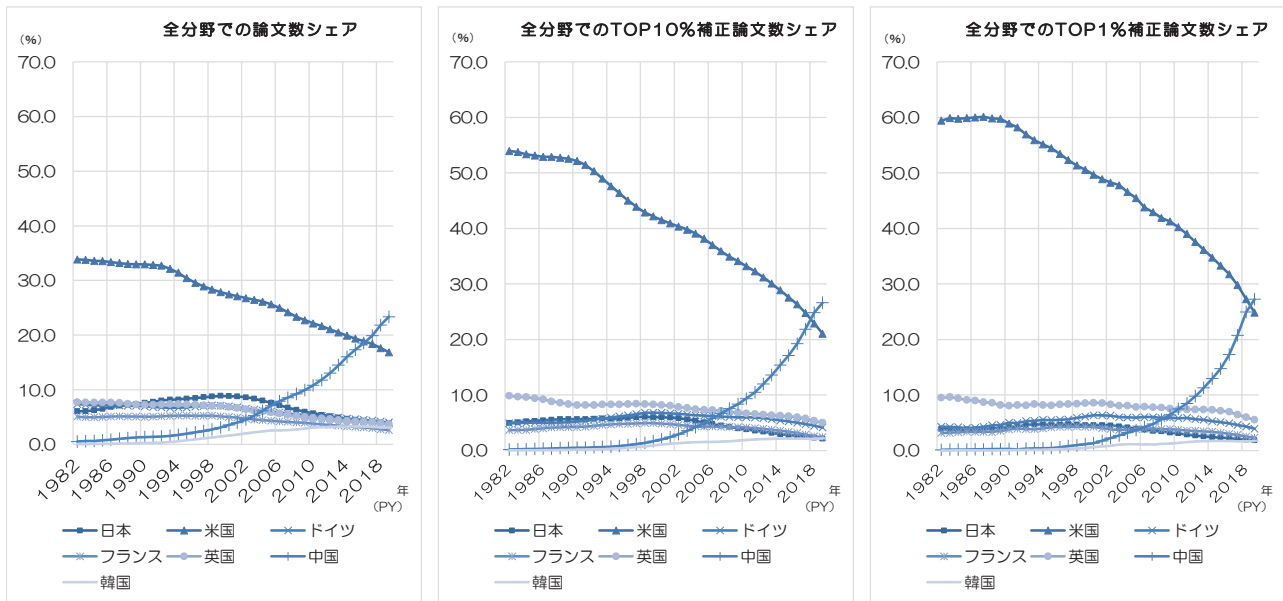
## 7. 研究(3)

### 7-4. 主要国の論文数、Top10%補正論文数、Top1%補正論文数シェアの変化（全分野、整数カウント法、3年移動平均）



(注) 分析対象は、Article、Reviewである。年の集計は出版年 (Publication year, PY) を用いた。全分野での論文数シェアの3年移動平均 (2018年であればPY2017、PY2018、PY2019年の平均値)。  
 整数カウント法である。被引用数は、2020年末の値を用いている。Top10% (及びTop1%) 補正論文数は22分野ごとに抽出しているため、分野分類できない論文は除外して算出している。  
 (出典) 文部科学省 科学技術・学術政策研究所、「科学技術指標2021」を基に、国立大学協会が加工・作成。

### 7-5. 主要国の論文数、Top10%補正論文数、Top1%補正論文数シェアの変化（全分野、分数カウント法、3年移動平均）



(注) 分析対象は、Article、Reviewである。年の集計は出版年 (Publication year, PY) を用いた。全分野での論文数シェアの3年移動平均 (2018年であればPY2017、PY2018、PY2019年の平均値)。  
 分数カウント法である。被引用数は、2020年末の値を用いている。Top10% (及びTop1%) 補正論文数は22分野ごとに抽出しているため、分野分類できない論文は除外して算出している。  
 (出典) 文部科学省 科学技術・学術政策研究所、「科学技術指標2021」を基に、国立大学協会が加工・作成。

# 7. 研究(4)

## 7-6. 国内機関における論文数等ランキング

### ・総合（世界12位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合(%)
1	京都大学	1,620	1.7%
2	東京大学	994	1.4%
3	理化学研究所	735	2.5%
4	大阪大学	590	1.1%
5	東北大学	572	1.1%
6	物質・材料研究機構	496	3.0%
7	名古屋大学	461	1.2%
8	九州大学	431	1.1%
9	北海道大学	360	1.0%
10	東京工業大学	329	1.2%

### ・化学（世界5位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合(%)
1	京都大学	168	1.5%
2	東京大学	157	1.6%
3	物質・材料研究機構	109	2.7%
4	産業技術総合研究所	86	1.3%
5	大阪大学	77	0.9%
6	北海道大学	65	1.2%
7	九州大学	65	1.1%
8	東京工業大学	59	0.9%
9	名古屋大学	50	1.0%
10	理化学研究所	48	1.2%

### ・生物学・生化学（世界11位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合(%)
1	東京大学	66	1.1%
2	京都大学	61	1.4%
3	理化学研究所	52	1.5%
4	大阪大学	33	0.8%
5	東北大学	21	0.8%
6	情報システム・研究機構	20	4.8%
6	慶應義塾大学	20	1.4%
8	九州大学	18	0.7%
9	筑波大学	14	0.8%
10	北海道大学	12	0.5%

### ・免疫学（世界11位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合(%)
1	大阪大学	34	2.7%
2	理化学研究所	31	4.2%
3	京都大学	22	2.2%
4	東京大学	21	1.5%
5	慶應義塾大学	17	2.6%
6	千葉大学	15	2.7%
7	北海道大学	14	1.7%
8	広島大学	13	3.3%
9	東京医科歯科大学	12	2.4%
10	横浜市立大学	9	3.0%

### ・材料科学（世界8位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合(%)
1	物質・材料研究機構	146	2.3%
2	東京大学	78	1.6%
3	産業技術総合研究所	55	1.4%
3	東北大学	55	0.8%
5	理化学研究所	39	3.6%
6	京都大学	34	0.9%
7	九州大学	27	0.8%
8	早稲田大学	25	2.5%
9	東京工業大学	23	0.7%
10	大阪大学	18	0.4%

### ・植物・動物学（世界10位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合(%)
1	理化学研究所	109	6.6%
2	東京大学	98	2.1%
3	京都大学	52	1.2%
4	名古屋大学	44	3.0%
5	岡山大学	38	3.2%
6	農業・食品産業技術総合研究機構	34	2.9%
6	東北大学	34	2.3%
8	北海道大学	30	0.9%
9	筑波大学	26	1.8%
10	奈良先端科学技術大学	25	4.8%

### ・物理（世界5位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合(%)
1	東京大学	443	2.5%
2	理化学研究所	233	2.8%
3	京都大学	209	2.2%
4	物質・材料研究機構	198	3.9%
5	大阪大学	161	1.7%
6	高エネルギー加速器研究機構	141	2.7%
7	東北大学	138	1.4%
8	東京工業大学	131	2.0%
9	名古屋大学	127	1.9%
10	筑波大学	106	2.2%

### ・地球科学（世界11位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合(%)
1	東京大学	91	1.5%
2	海洋研究開発機構	79	1.9%
3	国立環境研究所	63	5.1%
4	気象庁気象研究所	42	3.2%
5	気象庁	39	4.5%
6	名古屋大学	32	1.7%
6	北海道大学	28	1.1%
8	京都大学	25	0.9%
9	九州大学	22	1.4%
10	高知大学	17	2.5%
10	宇宙航空研究開発機構	17	2.3%

(注1) 日本の研究機関が著者所属機関に含まれる高被引用論文の総計が、世界順位で上位の分野から、日本の大学・研究機関を抽出している。

(注2) 世界順位は、分野別における高被引用論文の総計の順位。

(出典) クラリベイト・アナリティクス「インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関ランキング 2022年版を発表」(2022年4月18日日本時間)より  
国立大学協会事務局作成